

在宅取組型（幼稚園）

学 校 名 等	神戸町立神戸幼稚園
実 施 日 時	平成28年9月19日(月)～9月30日(金)
会 場	各家庭
参 加 人 数	全園児235名・保護者
学習課題（分野）	親子の触れ合い
運営者の願い	子どもの教育については、保護者が第一義的に責任を有する。そこで、まずは家庭で簡単にできる子どもたちとのスキンシップから始めてみようと考えた。暑さが続き運動会の練習で疲れ気味でもあるこの時期に、保護者の方から毎日頑張っている子どもの体をハグし、子どもの成長を応援する。

学 習 の 内 容

<ハグ習慣>

・ハグ習慣についてのお願いと取り組み用紙を配布する。

保護者の役割とは

- 子どもに愛情をもって接する
- 基本的な生活習慣の確立
- 自立心の育成
- 心身の調和のとれた発達を図る
- 自らが親として成長していくよう努める

- ・配布された用紙～とりくみのあしあと～に記入する。
- ・記入用紙を回収 → 集計 → 結果報告

家庭教育学級 ハグ週間
～とりくみのあしあと～

くみ なまえ

取り組みができた日に○をつけてください

9月19日(月)		9月25日(日)	
9月20日(火)		9月26日(月)	
9月21日(水)		9月27日(火)	
9月22日(木)		9月28日(水)	
9月23日(金)		9月29日(木)	
9月24日(土)		9月30日(金)	

10月1日(土) うんどうかい

ご協力ありがとうございました！！

～10月3日(月)に担任の先生に提出してください～

神戸幼稚園保護者会

<取組結果>

- ・『とりくみのあしあと』を提出していただいたほとんどの家庭が、毎日取り組みができていた。
- ・『とりくみのあしあと』の○付けでは、○がはなまるやスマイル顔になっていたり、○の代わりに可愛いシールが貼られていたりスタンプが押されていたりした。
- ・父親とも母親ともできたことや、期間中なぜハグをしたのか理由と場所まで記入してある家庭もあった。

<保護者からの感想>

- ・子どもからグーッとしてくれた。
- ・取り組みの中で、寝る前のチュッとグーッとが習慣になり継続している。
- ・取り組み中、かしまってはしなかったが、スキンシップの意味を振り返ることができた。
- ・兄弟(年齢)によってスキンシップの仕方が違うことに気付いた。幼いと常にだっこしてスキンシップができていますが、年齢が大きくなると触れ合う時間が短くなっているので、たまに抱っこすると喜ぶ。
- ・寝めるとき、頭をなでただけだったが、グーッとしてあげることによって、ちゃんと寝めることができた。



ハグ習慣をすることにより、スキンシップの大切さを改めて考えることができ、取り組みが終わってからも、親子のスキンシップを続けている家庭が増えた。